

## 第3回会議での主な意見

## 3つのエリア活用パターン

■ 白山エリア **スポーツによるまちづくり・スポーツによる地域活性化**

- ・市陸市体跡地に球技専用スタジアムを。
- ・やすらぎ提とスポーツが一体となった使い方を。

■ 鳥屋野潟エリア **スポーツの活性化・余暇の充実**

## 北部エリア(現運動公園)

- ・市陸の代替としてトレーニング特化型(医科学支援や合宿含む)施設を。

## 南部エリア

- ・ビッグスワンでラグビーや陸上の国際大会等を今以上に誘致できる。
- ・アリーナならば複合的な使用を。(コンサートなど)

※ 北部と南部は一体として、子どもからお年寄りまで、健康づくりや余暇などを楽しめるような施設などを考えて盛り込んだらどうか。

## ■ 確認したこと

- ◎ 20年後に存在しているスポーツ施設の姿を想定して議論を進める。  
ただし、どの施設を、あるいはどの順番に実現するのは行政において決めるもの。

## ■ その他意見

- ◎ スポーツを活性化させるというよりは、スポーツをキーワードに新潟市のまちづくり、地域活性化をどう進めていくのかという観点が一番大事。
- ◎ 全国のスポーツ施設の成功事例や交通インフラの課題などを深堀できないか。